

製菓・製パン業界の インフラを目指し BPR（業務改善）を推進

能崎物産では、「北陸の製菓・製パン業界のインフラ、プラットフォームとなる」という目標を掲げている。そこで本プログラムでは、そのために不可欠な「お客様へのサービス向上を目的としたBPR（業務改善）」の推進に取り組んだ。

取り組み内容

Step 1
現状把握
在庫管理・仕入れ、営業など各部署の社員に同行し、それぞれの現場の状況を自分自身の目で確認した。

Step 2
業務内容の
明確化
社員のスキルなどに応じて他部門との連携がちぐはぐなケースが見られたことから、各部門の業務内容を明確化した。

Step 3
業務内容
の
方式変更
主力商品から順次、適正な在庫数を見直すなど、管理システムの変更に着手。並行して営業向けトレーニングも開始した。

Step 4
管理職
研修など
各部門のリーダーを対象に、明確な基準を設定した新たな人事評価システムなどについて研修を行った。

受入企業

能崎物産株式会社 専務取締役 能崎 将明 さん

北陸を中心に製菓・製パンの原材料や食品機械・器具の卸販売などを幅広く手がける。1920年の創業以来、100年以上にわたって地域に根を張った事業を展開しており、1,000社以上のお客様との取引実績を誇る。老舗企業として地元のスイーツやパン業界を力強く支えている。

研究員

畑 憲司 さん

高知県高知市出身。京都大学経済学部卒業後、中央省庁でマクロ経済政策やエネルギー政策に携わる。その後、会計系コンサルティングファームで、食品流通関連企業をはじめとしたM&Aを数多く担当し、2015年、京都大学大学院で博士号（経済学）を取得。2016年からフリーコンサルタントに。

共創型企業・人材展開プログラム 事例

CASE:

製菓・製パン業界の
インフラを目指し
業務改革を推進



取り組みの成果
・
今後の取り組み

- ・従来から業務改革に取り組んできたが、なかなか効果が得られなかった。外部の視点を取り入れることで現場の実情が分かり、どこから手をつければいいかがはっきりと見えた。
- ・管理職研修、営業トレーニングなどを通して「会社が変わる」という意識づけができた。
- ・新年度からは、経営判断の材料となる管理会計を畑さんに担当してもらう計画。

企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・社員が技量に応じて他部門に関わる仕事まで担ったり、商品によって在庫数が多過ぎたり少な過ぎたりするなど、効率化できる点が多々あると感じていました。社外の視点で業務改善と組織改革を進めるため、参加しました。

評価（成果・社内変化など）

- ・判断や計画のスピードの早さに驚きました。プログラムが始まって間もなくの段階で、私の描く会社や業界のビジョン、問題意識について共有化できました。その後、社内の現状をつかんでからは、各部門の業務内容を明確化し、営業スタッフのトレーニングメニューや新たな人事評価システムなどを次々と構築してくれました。
- ・研究員の視点を通して、現場の状況を把握できたことで、改革するには何から手をつければいいかがはっきりしました。チームリーダーから研修をスタートしており、各部署の中核となる社員には徐々に私たちの考えが伝わってきたと思います。今後は、リーダーが中心となって社員全員の意識改革を進め、お客様サービスの一層の向上につなげていきます。

今後の関わり方

- ・4月以降も当社に関わっていただく予定です。BPRに関しては土台ができたので、次のミッションとして、経営判断の材料となる管理会計の策定を担当してもらいたいと考えています。

研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・Facebookの広告で、このプログラムについて知りました。金沢大学で研究員をしながら、これまでの経験を生かし、コンサルタントとして企業に携わることができる内容に魅力を感じ、参加を決意しました。

評価（取り組み・生活）

- ・仕事内容が人によってばらついているとの課題を能崎専務から伺っていたため、まずは現場の状況確認を丁寧に行いました。その中で、組織ごとの機能を今一度、定義する必要性を感じました。加えて、新たな在庫管理システムの導入や、各部門に応じたスキルを高めるための営業社員向けの教育プログラムの構築、明確な基準を設けた人事評価システムの策定などに取り組みました。
- ・金沢大学と北國銀行、事務局を統括するアイコックの3者によるプログラムは、参加する研究員側としても心強い体制でした。金沢は初めて仕事をするエリアでしたが、大学に定期的に通い、プログラムの進捗状況を共有できたことで、大所高所の視点と業務改善の視点の両立にもつながりました。

今後の展望

- ・4月以降は能崎物産の管理会計についてお手伝いさせていただく予定です。数字を通して経営者の判断をサポートするのが管理会計です。外部の視点を忘れることなく、適度な距離感を持って仕事に臨みたいと思います。